

百里基地対策特別委員会 会議録

令和5年3月8日(水)午後4時14分
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

百里基地対策特別委員会

令和5年3月8日（水）午後4時14分
小美玉市役所3階 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 執行部あいさつ

4 協議事項

（1）令和4年度百里基地における訓練実績について

（2）外国軍との共同訓練、部隊交流について

（3）その他

5 閉 会

出席委員（8名）

2番	真家 功 君	3番	戸田 見良 君（副委員長）
4番	香取 憲一 君	10番	石井 旭 君（委員長）
12番	長島 幸男 君	13番	岩本 好夫 君
15番	小川 賢治 君	16番	田村 昌男 君
19番	荒川 一秀 君（議長）		

欠席委員（2名）

7番	植木 弘子 君	18番	市村 文男 君
----	---------	-----	---------

付託案件説明のため出席した者

市長	島田 幸三 君	副市長	岡野 英孝 君
都市建設部長	小島 謙一 君	基地対策課長	菅 具隆 君
基地対策係長	真家 広幸 君		

議会事務局職員出席者

書記 菅 澤 富美江

午後 4時14分 開会

○副委員長（戸田見良君） 皆さんおそろいでありますので、時間より早いでありますけれども、ただいまから百里基地対策特別委員会を開催いたします。

委員長挨拶。石井委員長、お願いいたします。



◎開議の宣告

○委員長（石井 旭君） 改めまして、ご苦労さまでございます。

今回続きまして百里基地対策特別委員会ということで、本当にお疲れのところ、ありがとうございます。時間が遅くなって本当に申し訳ありませんが、協議事項につきましては、ご覧のとおり2項目となります。

報告が主になると思いますが、その他もあります。皆さんのほうから忌憚のないご意見いただいて、進めてまいりたいと思いますので、よろしく執行部説明のほうをよろしくお願いいたします。簡単ですが、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○副委員長（戸田見良君） ありがとうございます。

続きまして、執行部挨拶。島田市長、お願いいたします。

○市長（島田幸三君） 本会議に続きましての百里基地対策特別委員会ということで、大変ご苦労さまでございます。

ただいま委員長からもお話がございましたとおり、世界情勢の関係でしょう。百里基地の訓練等が数が増えているなというふうに考えております。

いずれにしましても、報告の後、皆様方の忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○副委員長（戸田見良君） ありがとうございます。

それでは協議に入ります。

協議の進行は石井委員長にお願いいたします。

○委員長（石井 旭君） 議事に入る前ですが、ただいまの出席委員は8名であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

それでは早速、議事に入ります。

(1)令和4年度百里基地における訓練実績について、執行部より説明をお願いいたします。
管具課長。

○基地対策課長（管具 隆君） よろしくお願ひいたします。

それでは早速、説明に移らせていただきます。

1番の令和4年度百里基地における訓練実績についてご説明いたします。

資料1になります。本市に所在します航空自衛隊百里基地では日々訓練や国防に係る任務を遂行しております。配備されている戦闘機、その他の航空機においては、通常訓練のほか、特殊な訓練等を実施しており、それら通常以外の訓練や任務飛行につきましては、基地側の配慮によって事前に情報提供がされており、即時に地元協議会や周辺住民の方々へお知らせし、特別委員の皆様へもメールやファクス配信してございます。

今回は令和4年度中に基地で実施した訓練等について、事前情報からまとめた資料にてご報告いたします。

1ページになります。大きな1番、通常以外の訓練、任務飛行等についてですが、今年度に基地側から事前の情報提供があった訓練等の一覧につきましては、2ページからの別紙一覧のとおりでございます。

1ページにありますように、大まかに申し上げますと、1つ目が基地上空で行われるAGG訓練、これは模擬空対地射撃訓練というものがああります。この訓練はF-2戦闘機による陸地の目標に対する射撃を想定した訓練でありまして毎月実施されております。

訓練は、上空から降下、そして地上の目標を捕捉した後、急上昇し旋回を繰り返すもので、飛行時間は1時間以内で終了いたしますが、太平洋上ではない陸地を周回することから相当な騒音発生源となっております。

同じく1ページの②に、昼夜連続飛行訓練がございました。令和4年10月27日から28日にかけて実施するという、これまでなかった訓練通告がありました。

内容は、深夜・早朝を含む昼夜連続の航空機離着陸との説明でしたが、市としましては、この時間帯の戦闘機離陸には周辺住民が受ける騒音障害は計り知れず、事前周知の期間も取れないような直前の通告でありましたので、受け入れることができないとして、島田市長が直接、基地司令に対して訓練自粛の要請を申し入れました。

結果としまして、基地司令は訓練規模の縮小を決断し、22時以降早朝までの戦闘機離陸は実施されず2日間の訓練を終了しております。

次の③休日飛行ですが、今月初めまでに基地側からの事前情報及び実施のあった航空機離

着陸は年間25回を超えております。

別紙1、一覧にも記載してございますが、休日の任務飛行は、各地イベントや基地行事等へ参加する戦闘機の離着陸、その他の基地からの物資輸送のための輸送機、ヘリコプターの飛来、国外訓練に出向く自衛隊航空機の中継飛来などによるものでございます。

なお、これら休日及び夜間の飛行につきましては、緊急発進や災害等救難活動への出動によるものは含んでございません。

④には、その他基地内での訓練について記載してございます。

航空機救難消火訓練を年に4回、不発弾処理訓練を1回、それぞれに実施してございます。以上です。

○委員長（石井 旭君） 説明が終わりました。

これについて何か質問やご意見などあればお願いいたします。ないようですので、次に入ります。

(2) の外国軍との共同訓練、部隊交流について、執行部の説明をお願いいたします。

菅具課長、お願いします。

○基地対策課長（菅具 隆君） 続きまして、資料の2、5ページからになります。大きな2番、外国軍との共同訓練、部隊交流について、ご説明いたします。

百里基地におきましては、昨年3月末日にオーストラリア空軍、在日米軍との部隊間交流が行われたのを皮切りに、外国軍との相互理解と防衛協力の深化のための訓練等が実施された1年でございました。

共同訓練においては、前段にご説明しました周辺地区や協議会並びに市議会の皆様へのお知らせと、今回、騒音影響を考慮しまして小川地区の全区長等へ回覧周知依頼をしてございます。

まず、①ドイツ空軍についてですが、令和4年8月中旬から国外オーストラリア洋上付近で多国軍との合同演習を終了し、9月末に日本への航路途中で日独飛行訓練を行った後、百里基地に飛来したものでございます。ドイツ空軍戦闘機が初めて来日することの話題性もあり、基地周辺には多くの見物者が集まりました。滞在3日間での訓練等はなく、部隊交流及びドイツ軍将校の防衛省表敬が行われて終了しております。

次に、②日米共同訓練ですが、在日米軍再編に係る訓練移転が令和3年12月の実施から2年連続で行われました。訓練は、昨年11月10日から7日間、米軍三沢基地からF-16戦闘機が12機参加するという規模でした。訓練実施に当たっては、当然ながら周辺住民への配慮と

安全対策に万全を期すよう、周辺5市町の要請書を防衛省へ提出いたしました。

次ページに、別添1資料としてあります、訓練中に現地対策本部から毎日送られてきた実施記録のまとめになってございます。

三沢基地の米軍機は2年前に戦闘機飛行中に燃料タンクを投棄し、三沢市市街地近くへ落下させた事故等がありましたので、訓練に対して少々不安事項もありましたが、訓練は無事に終了してございます。なお、在日米軍の訓練移転につきましては、同じ時期に九州宮崎県の新田原基地と福岡県の築城基地でも実施されたようでございます。

次に、③日印共同訓練ですが、インド軍との日本国内での共同訓練は、以前から計画があったものの、新型コロナウイルスの世界的感染拡大で、その実施がたびたび見送られており、今回初の戦闘機訓練が実施されました。防衛省からの事前告知では、米軍以外であることや期間が長いことなど懸念材料が多くあったため、防衛局に対して詳細説明を要望し、昨年末、12月27日に当特別委員会にて北関東防衛局企画部長が出席し、訓練説明を行っております。また、訓練参加のインド空軍スホーイ30という戦闘機は、主にロシアや中国が保有する戦闘機であり、日本初上陸として社会的関心は相当大きいものと予想しまして、ドイツ軍の際と同様に基地周辺への見物者対策等の検討と対応をいたしました。加えて、今回も訓練開始前には防衛省に対して周辺5市町の要請書を提出しており、期間中には現地本部との連絡を密に行ってまいりました。

別添資料にあるのは訓練記録で、毎日日報として送られてきたもののまとめでございます。

インド軍は長期わたって滞在したものの、インド軍戦闘機の飛行は4日間のみであり、その他は部隊間文化交流や基地内待機等としておりました。なお、これらの共同訓練では各自自治体の視察や報道公開がなされ、人数制限もあって、市長、副市長及び市議会正副議長、地元協議会の役員が基地入場し、それぞれ訓練説明等を受けておりますことをご報告させていただきます。

最後になります。近年における国際情勢の不安要素と近隣国の軍事活動の活発・拡大に対して、国防体制の強化はもとより、国際秩序と安全保障を確立するための多国間の連携並びに軍事力強化は今や必須のものとなっているようでございます。これら軍事外交面の背景もあって、年間には自衛隊と米軍及び外国軍との共同訓練や合同演習が国内外で数多く行われております。3月初めには滋賀県にてインド軍と自衛隊がテロ対策の訓練を行い、また、石川県小松基地ではインド軍と航空自衛隊双方の輸送機による共同訓練を実施しております。国内初の外国軍との訓練が百里基地で実施されたその背景には、相手国からの強い要望や円

滑な受入れ能力の基地を総合的に判断した結果と防衛局の説明もございました。

今後も百里基地で外国軍との共同訓練が実施されることが予想されますが、騒音や訓練危険への不安、周辺地域にこれ以上負担を増大することのないよう事前の情報収集と説明・周知を徹底し、不安払拭を努力するよう防衛省に対して必要な要請をし、また基地本隊にも安全対策等の徹底をするよう伝えながら、まずは周辺住民への配慮を第一に捉えた基地対策行政でなければならないと感じております。

特別委員の皆様におかれましてもご理解いただきますようお願い申し上げまして、報告の資料説明を終了いたします。

○委員長（石井 旭君） ありがとうございます。説明は終わりました。これについて何か質問やご意見があればお願いいたします。

長島委員。

○12番（長島幸男君） この外国との共同訓練ということで去年の9月かな。ドイツ軍、これのときが相当ね、今お話しされたように県外、県内もそうですが、見学者が相当多かったんですよね。それで、この近辺の与沢・百里・外之内地区、これの田んぼ道とか、そういうところにも相当カメラを持ったそういう方が多いと。私のところにも2名ほど電話がかかってきて、こういう対策はどうなっているんだというようなお話がありました。私もちょっと行ってみたんですが、本当に珍しいというか、ドイツ軍と、あとはインドかな。インドのときもちょっと私も話聞いたんですが、接触事故があったみたいですね。これは私が知っている人が接触されたということで、栃木県のほうの方ということで朝もう4時頃から来ているみたいでね。狭い路地から飛び出してきて接触したというのがあって、こういうあれについては、基地のほうでどうしようもないとは思いますが、何らかのあれしないと、やっぱり地元の迷惑になっちゃうんだよな、何回も言うようだけど。このほかにも、これではないんですが、航空祭、これについても先日反省会というのを地区の区長を中心としてやったようですが、はっきりした今後こういう形にしたいというのは、まだ明細に市のほうからも話がないんですが、なかなか本当に、これ毎年のような苦情が出ていますんで、きちんと対策課のほうから話をして、これ、今後の対策ということで反省会のとき話がありましたよね、いろんな区長からの要望等。これについては回答もらって、百里基地協議会のほうが主催でやったみたいですが、全員にこういう形に今後していきたいという基地からの監理部長でもいいと思うんですが、そういうような回答をちゃんといただいでくださいね。

私らもいろんな面で言われますんで、議会でもそういう特別な対策本部があるんでしょ

ということで話が出ているもので、これはありますよということで話しはしていますんで、
そういうことでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（石井 旭君） 要望でよろしいですか。

○12番（長島幸男君） はい。

○委員長（石井 旭君） ほかに。

田村委員。

○16番（田村昌男君） これ、今年もさ、米軍との夜間訓練は予想されるのかな。

○委員長（石井 旭君） 菅具課長。

○基地対策課長（菅具 隆君） 令和5年度に日米共同訓練があるかどうかは、今のところ計画は特に示されておりません。

○委員長（石井 旭君） 田村委員。

○16番（田村昌男君） この間夜間訓練があつて、騒音がうるさくて、夜、テレビの音が聞こえなくてしょうがないんだと、こう言ってる。ですから、市長に夜間訓練だけはね、夜間訓練だけはあまり許してもらいたくないんですね。旧小川は住民がおとなしいから騒がないんだけれども、これだんだん騒いでくるよ、この夜間訓練が増えると。ですから、絶対に夜間訓練だけは賛成しないでもらいたい。これ強く言ってくださいね。よろしくお願ひします。

○委員長（石井 旭君） 要望でよろしいですね。

○16番（田村昌男君） はい。

○委員長（石井 旭君） ほかにございませぬか。ないようですので、次に入ります。

その他になりますが、その他で何か皆さんありましたらお願ひいたします。

香取委員。

○4番（香取憲一君） お疲れさまです。よろしくお願ひします。

私のほうからは、その他ということで、一日か二日前だったと思うんですが、新田原基地のF-15戦闘機がスクランブルして上がれなくて、滑走路をオーバーランして事故という事案が、今、もちろん調査中だと思うんですけども、情報共有というか、どういふ理由であつたかというのがもし防衛局の発表といふことの早めにもしそういう情報共有できるんであれば、百里基地からF-15部隊移転になつちやいましたので、戦闘機は違ひますけれども、機種は違ひますけれども、一応こういふこともあるんだといふ情報は共有しておいたほうがいいんじゃないかなといふふうに思ひますので、追つて何か調査をしていただければなといふふうに思ひます。よろしくお願ひします。

以上です。

○委員長（石井 旭君） それについては、タブレットとかに、ちょっと調査したら連絡もらえるとありがたいです。これは議員さん特別委員だけで結構ですからお願いします。よろしくお願いします。

ほかにございませんか。ないようですので、それでは協議を終了いたします。副委員長と交代いたします。



◎閉会の宣告

○副委員長（戸田見良君） 本会議の後でありましたが、皆さん、慎重な議論ありがとうございました。

それでは、以上で百里基地対策特別委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後 4時35分 閉会